

富士箱根伊豆国立公園の公園区域及び公園計画の変更案の概要

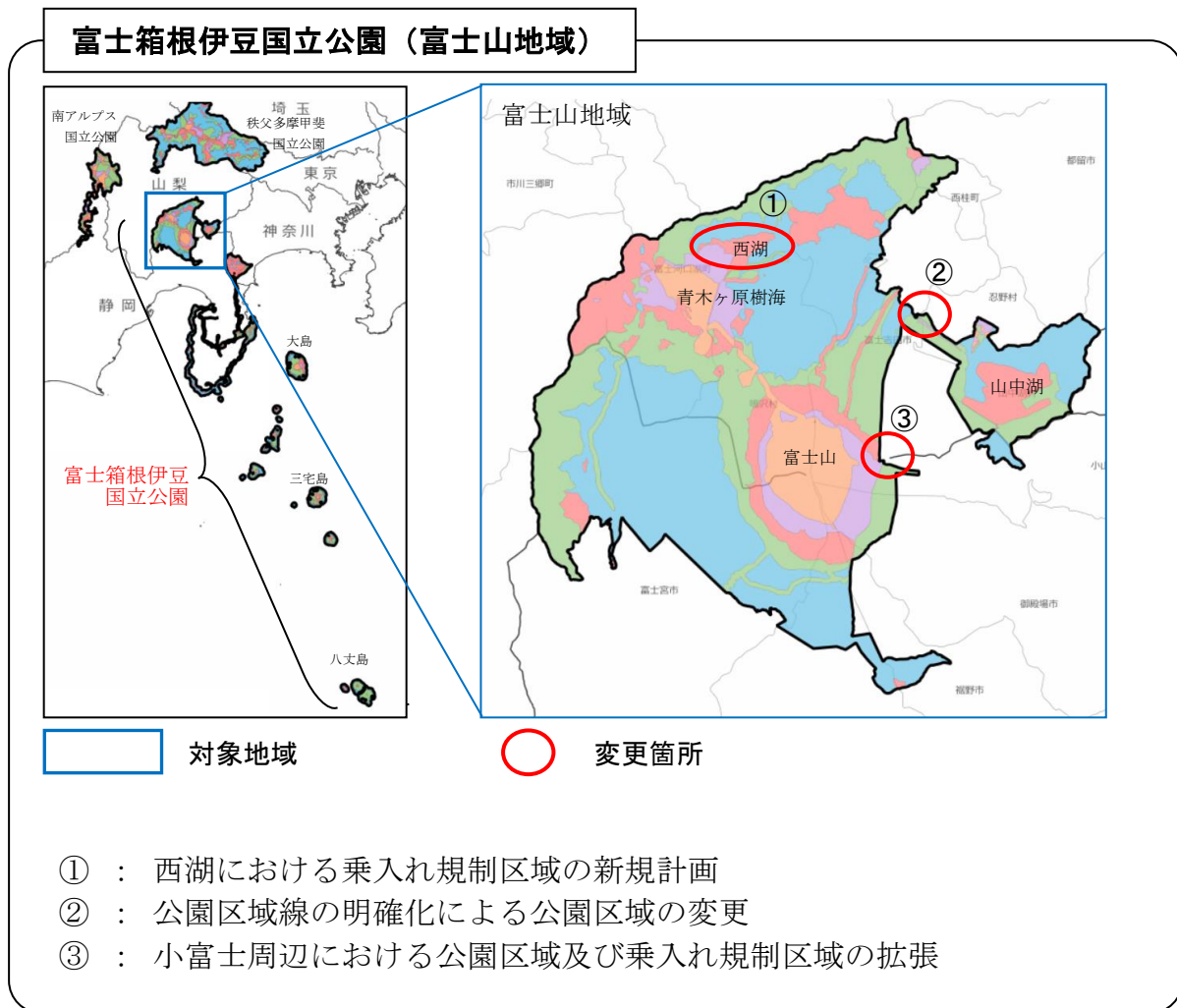
1. 背景

富士箱根伊豆国立公園は、富士山を頂点とし、伊豆半島から伊豆諸島、硫黄海嶺に続く火山列に起因する火山弧峰、火山カルデラ、半島、列島景観により構成され、フィリピン海プレートがユーラシアプレート及びオホーツクプレートに沈み込むプレートテクトニクスのダイナミズムを感じることができる国立公園です。

本国立公園は、昭和11年に富士箱根国立公園として指定されました。昭和30年に伊豆半島地域の編入によって、名称が富士箱根伊豆国立公園となり、その後、昭和39年に伊豆諸島地域が編入され現在に至っています。

今回変更の対象となる富士山地域は、平成8年に公園計画の再検討が実施され、平成18年に第1次点検を行っています。第1次点検以降の特筆すべき社会情勢の動向として、平成25年6月22日に富士山が世界文化遺産に登録されたことが挙げられます。世界文化遺産富士山及びその構成資産の大部分が国立公園となっており、保存管理体制を確立しています。

今回は、本地域を取り巻くこれらの情勢変化を踏まえ、公園事業道路等の利用施設の変更と、小富士周辺の風致の維持を図ることを目的とした区域拡張及び従来から不明確であった公園区域線の明確化を行います。



2. 変更案のポイント

- ・国立公園として一体的に風致景観の維持及び適正な利用を図る必要性がある区域として、小富士周辺地域を公園区域に編入します。
- ・上記の公園区域の編入を踏まえ、適切な保護規制計画及び利用施設計画を変更します。

3. 変更案の詳細

(1) 公園区域の変更

○拡張する区域

山梨県富士吉田市内県有林富士・東部事業区の一部（63ha）

山梨県南都留郡忍野村忍草の一部（1ha以下）

○削除する区域

山梨県南都留郡忍野村忍草の一部（9ha）

(2) 保護規制計画の変更

○第2種特別地域

拡張：山梨県富士吉田市内県有林富士・東部事業区の一部（63ha）

○第3種特別地域（区域線の明確化による）

拡張：山梨県南都留郡忍野村忍草の一部（1ha以下）

削除：山梨県南都留郡忍野村忍草の一部（9ha）

(3) 乗入れ規制区域の変更

○新規計画する区域

西湖水面の全部（205ha）

○拡張する区域

山梨県富士吉田市内県有林富士・東部事業区の一部（63ha）

(4) 利用施設計画の変更

ア 単独施設

追加：園地（2箇所）－山梨県富士吉田市他

舟遊場（1箇所）－山梨県南都留郡富士河口湖町（精進湖北岸）

野営場（1箇所）－静岡県富士宮市（猪之頭人穴道）

削除：宿舎（3箇所）－諏訪の森、精進赤池、本栖湖西岸

園地（3箇所）－鐘山、精進赤池、三国山

給油施設（1箇所）－船津

イ 道路

a 車道

削除：富士北麓公園線

b 歩道

追加：中ノ倉雨ヶ岳線

削除：精進五湖山線、本栖パノラマ台線、御坂峠線、大石大石峠線

変更：天子山系縦走線、三ッ峠山口浅川線、御坂山系縦走線、精進口三合目御庭線

(参考) 公園区域の面積

	変更前	変更後	面積の増減
富士箱根伊豆国立公園（富士山地域）	60,591ha	60,645ha	+54ha